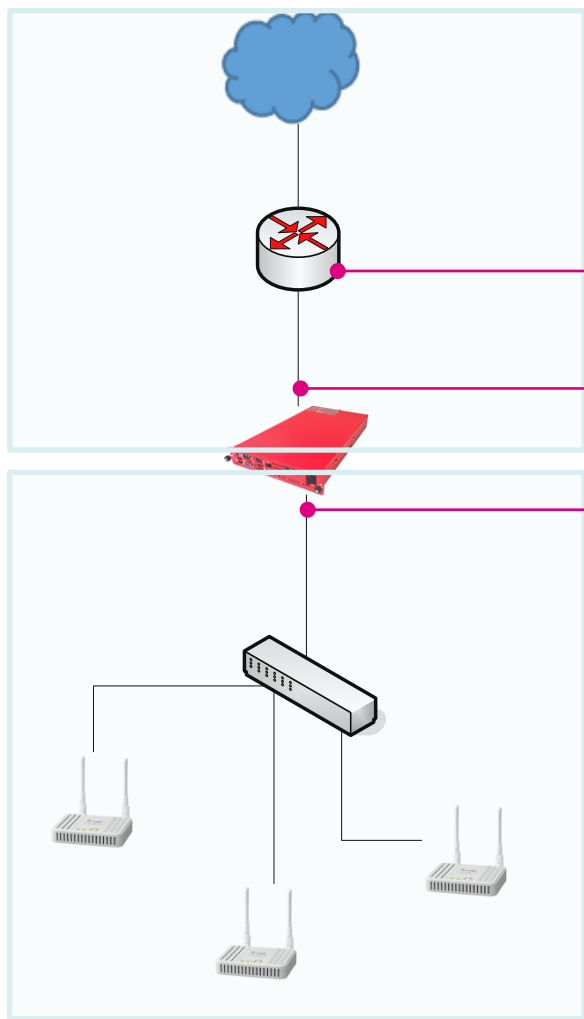




Japan Wi-Fi

認証ゲートウェイ POPCHAT設置のネットワーク構成例

以降のページの構成例でも、基本的な留意点は同じ。



大前提

POPCHATは、MACアドレス単位にユーザーを識別した上で、認証、制御を行う仕様です。

ルーター

IP:192.168.223.254/30

WAN

IP:192.168.223.253/30
GW:192.168.223.254

LAN

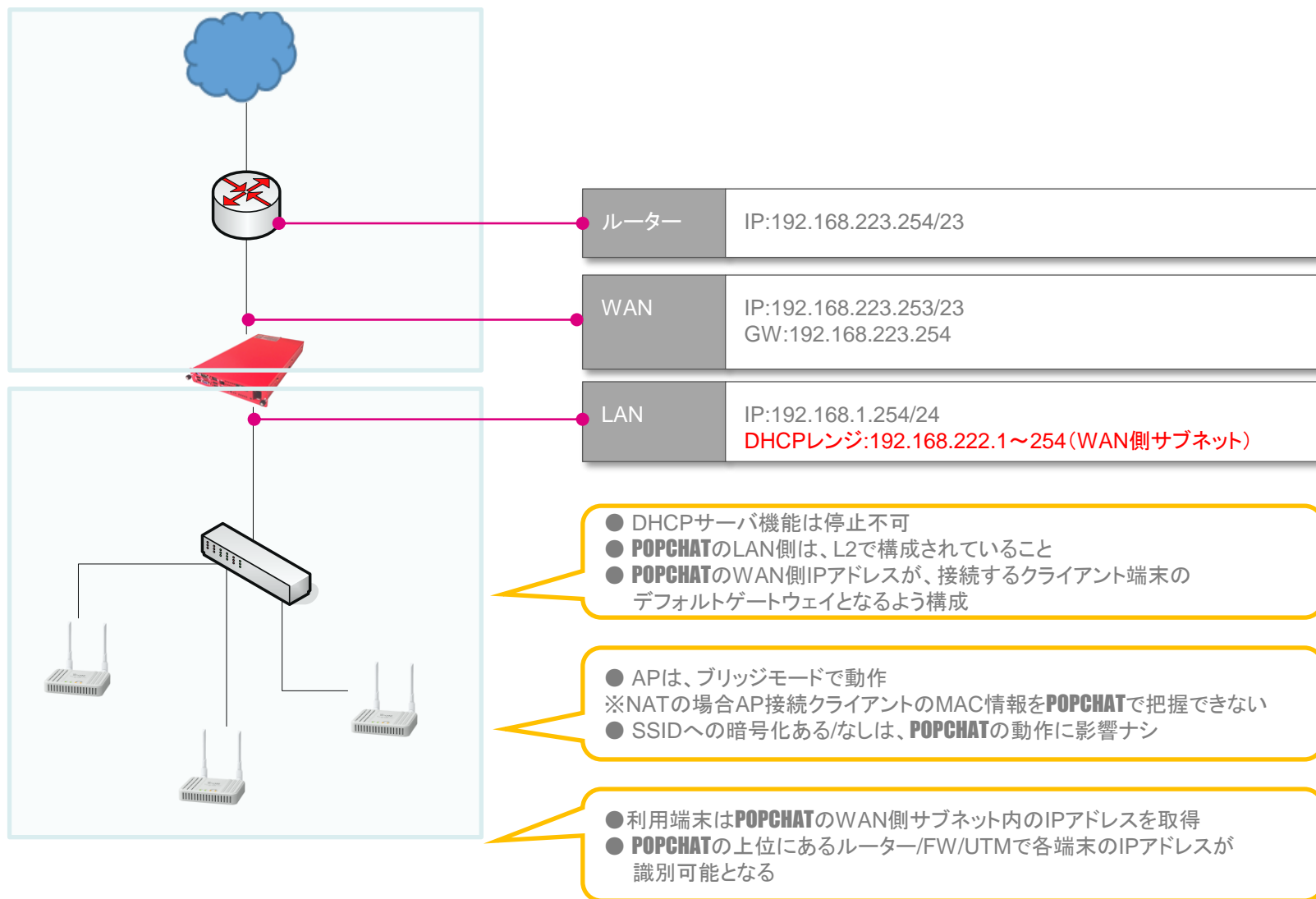
IP:192.168.1.254/24
DHCPレンジ:192.168.1.1~253

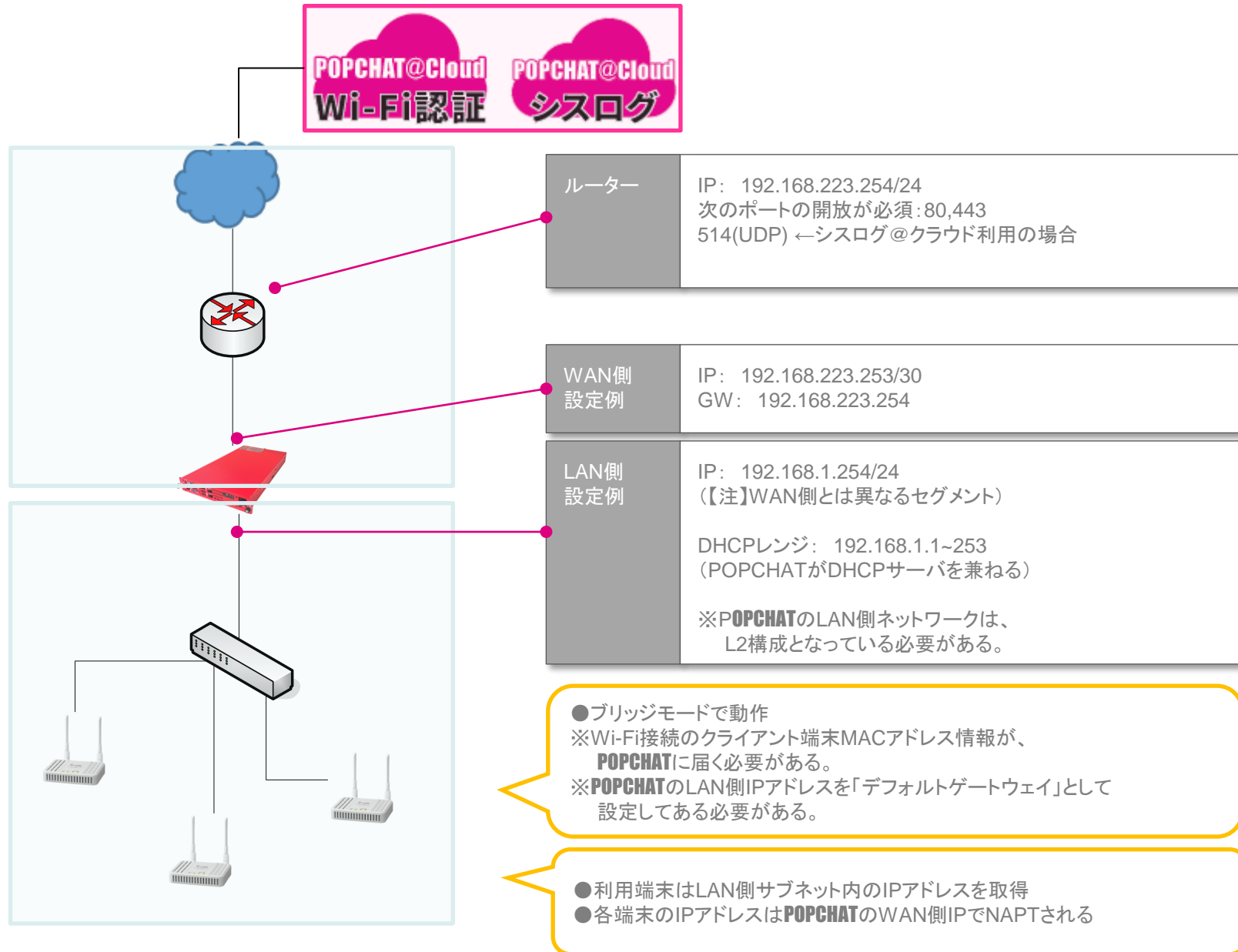
- DHCPサーバ機能は停止不可
- POPCHATのLAN側は、L2で構成されていること
- POPCHATのLAN側IPアドレスをデフォルトゲートウェイとして設定

- APは、ブリッジモードで動作
- ※ NATの場合AP接続クライアントのMAC情報をPOPCHATで把握できない
- SSIDへの暗号化ある/なしは、POPCHATの動作には影響ナシ

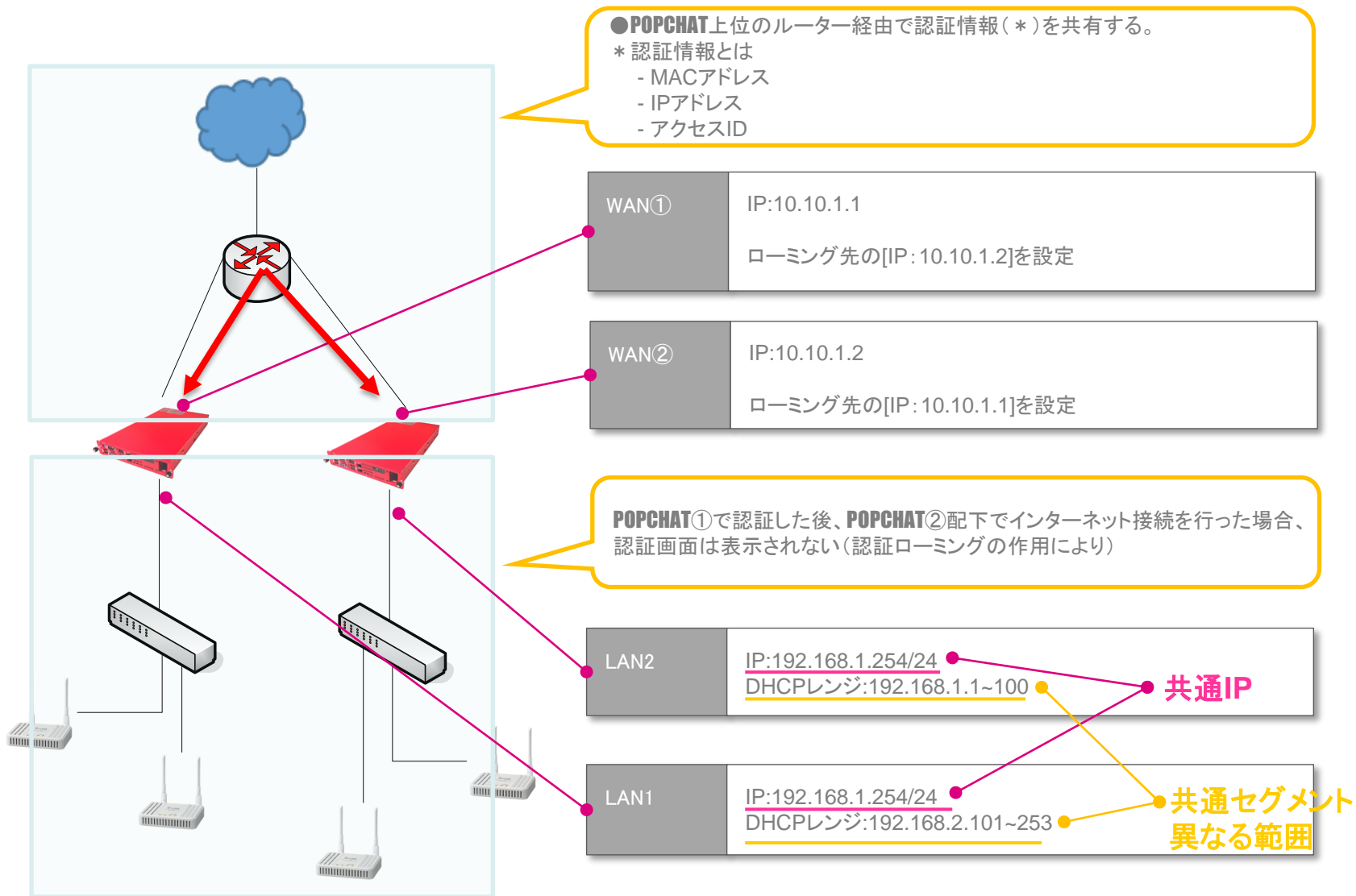
- 利用端末はPOPCHATのLAN側サブネット内のIPアドレスを取得
- 各端末のIPアドレスはPOPCHATのWAN側IPでNAPTされる

スタンドアロン時の基本構成例 (Global接続モード)

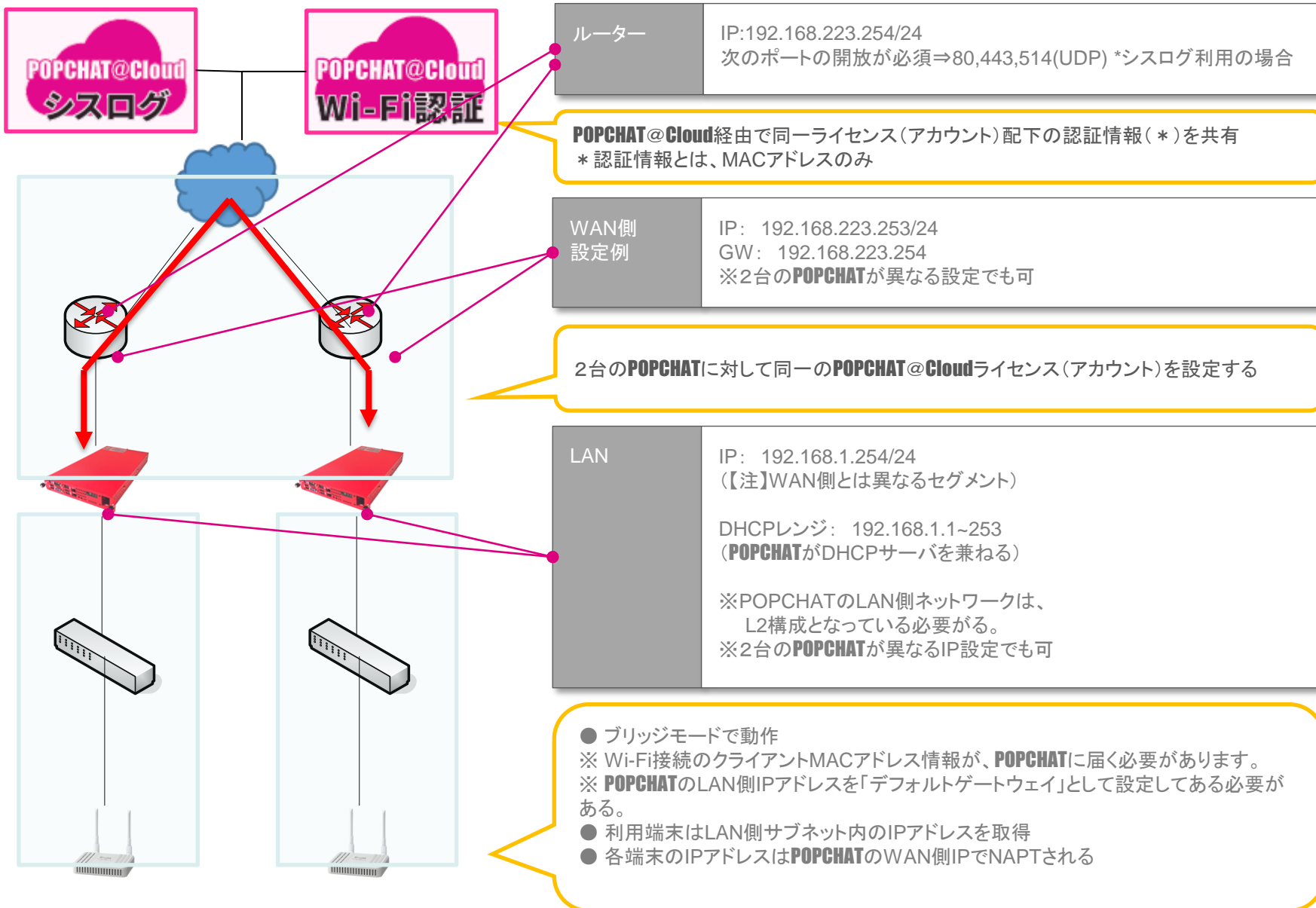




[同一LAN内]シングル認証ローミング構成例



[クラウド経由]マルチ認証ローミング構成例



インターネット経由でリモートアクセスする構成例

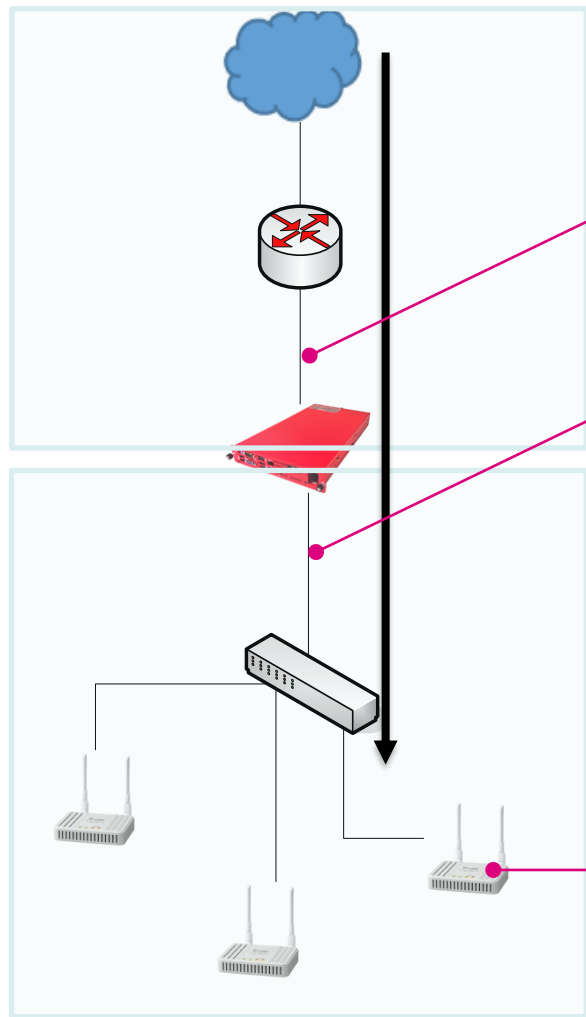
POPCHATが間にせっちしてあっても、
WAN側からLAN側へ**ポート転送**を行うことで配下端末へアクセスできる
(ルータ側での転送処理も必要)

WAN	IP:100.100.1.2/24 GW:100.100.1.1
-----	-------------------------------------

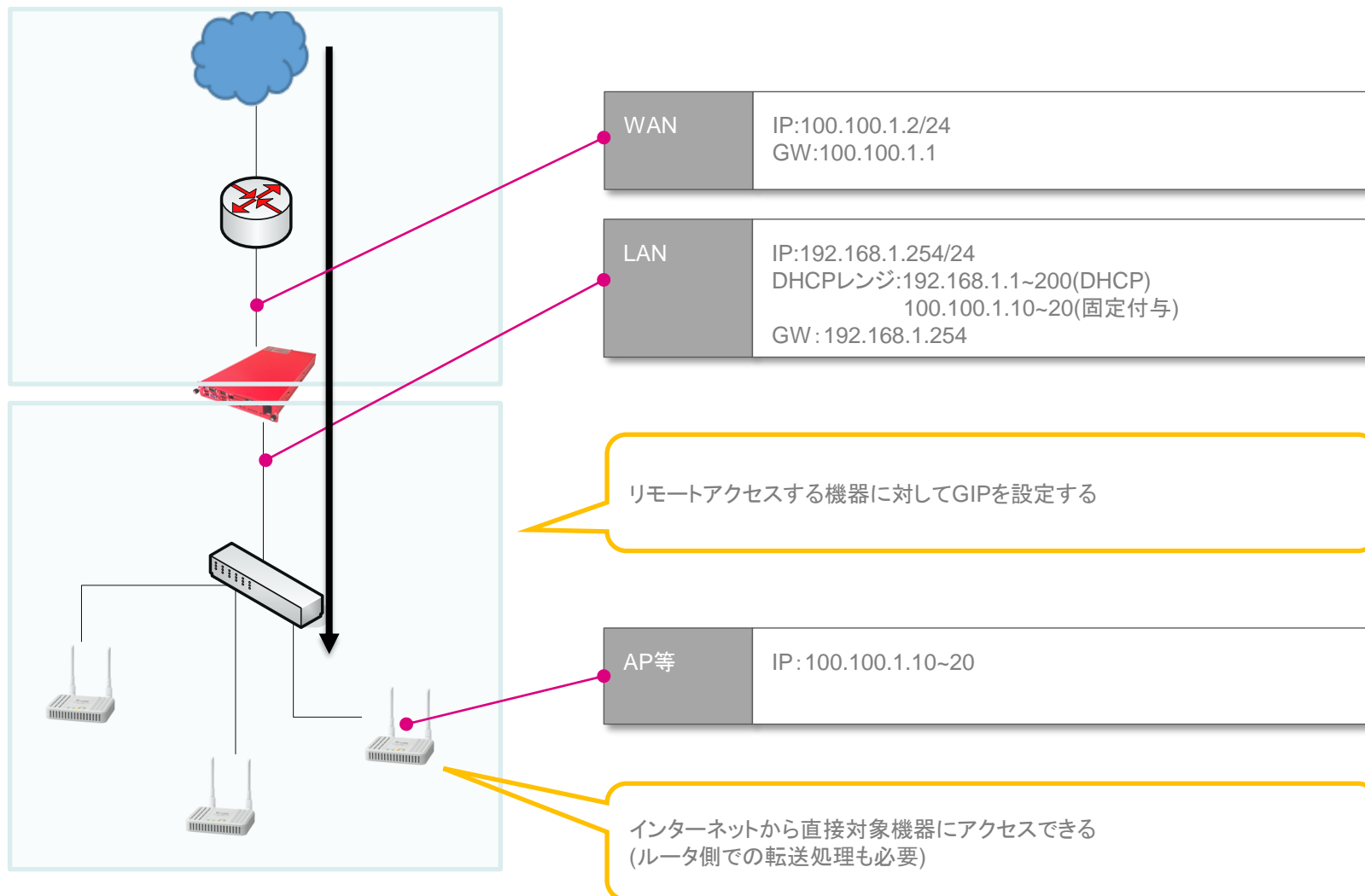
LAN	IP:192.168.1.254/24 DHCPレンジ:192.168.1.1~200(DHCP) 192.168.1.201~253(固定付与) GW:192.168.1.254
-----	---

POPCHATにてポート転送設定を行う
POPCHAT WANIP:50080 →AP_IP:80

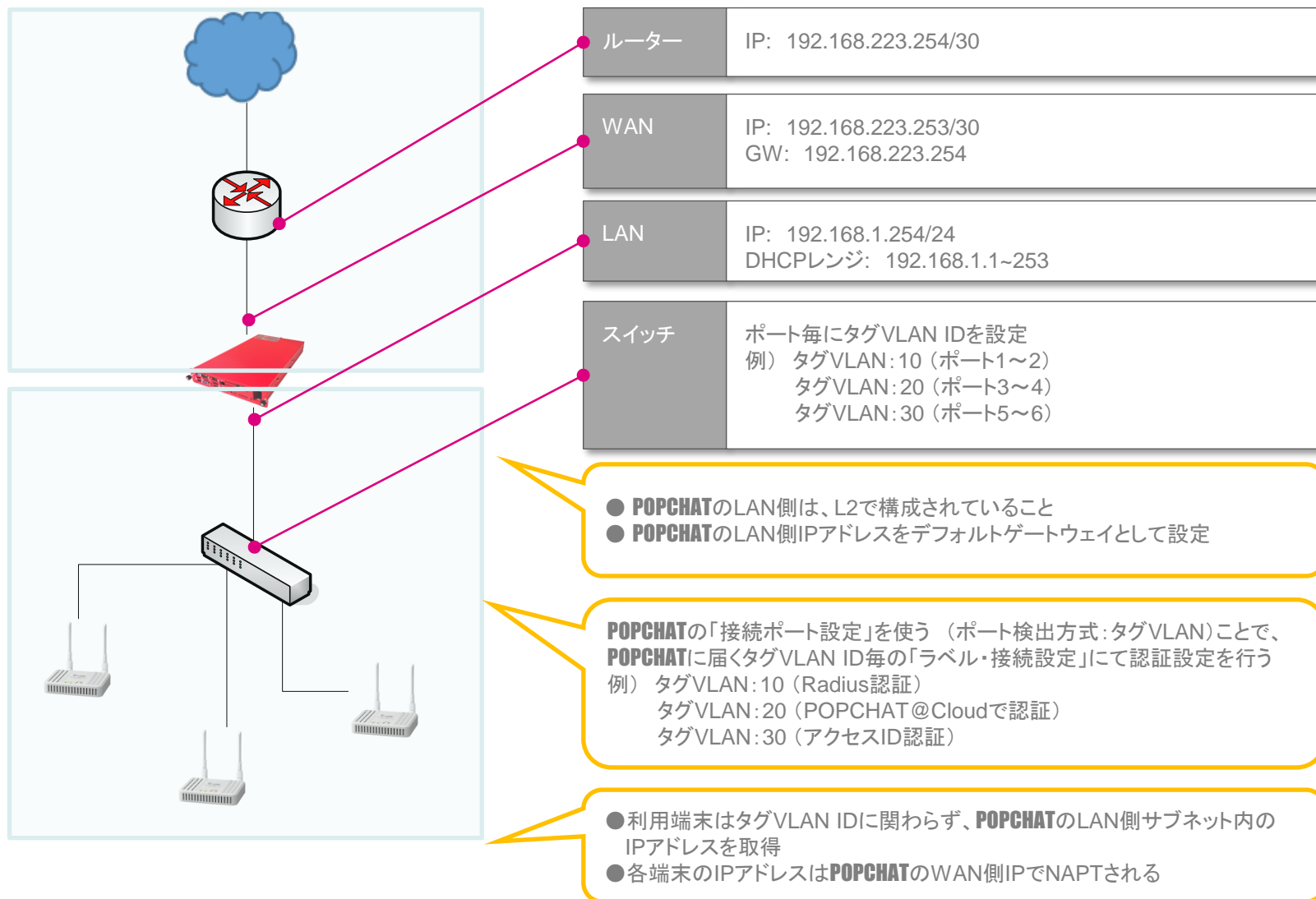
AP等	IP:192.168.1.201~253
-----	----------------------



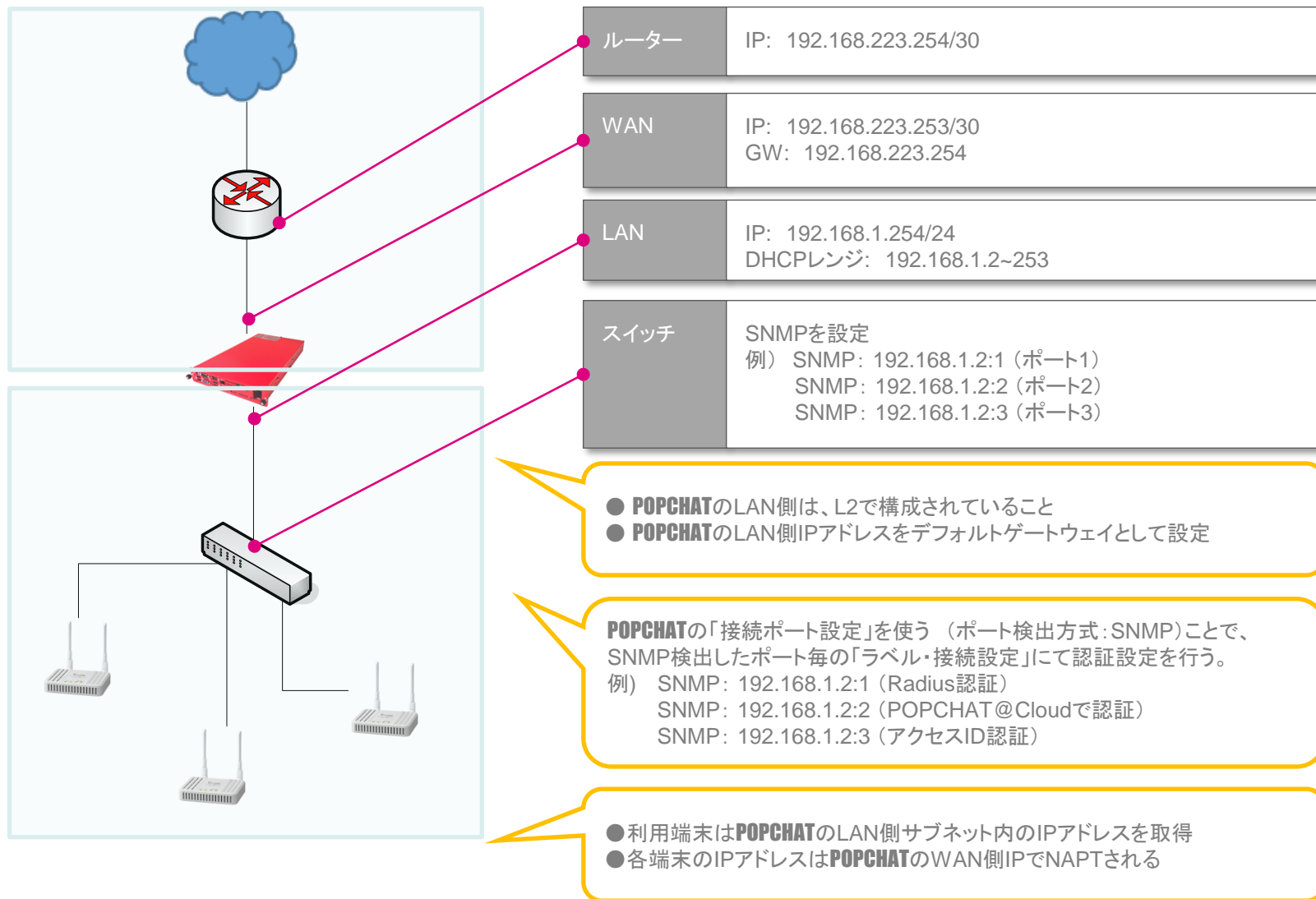
(グローバルアドレス使用時)



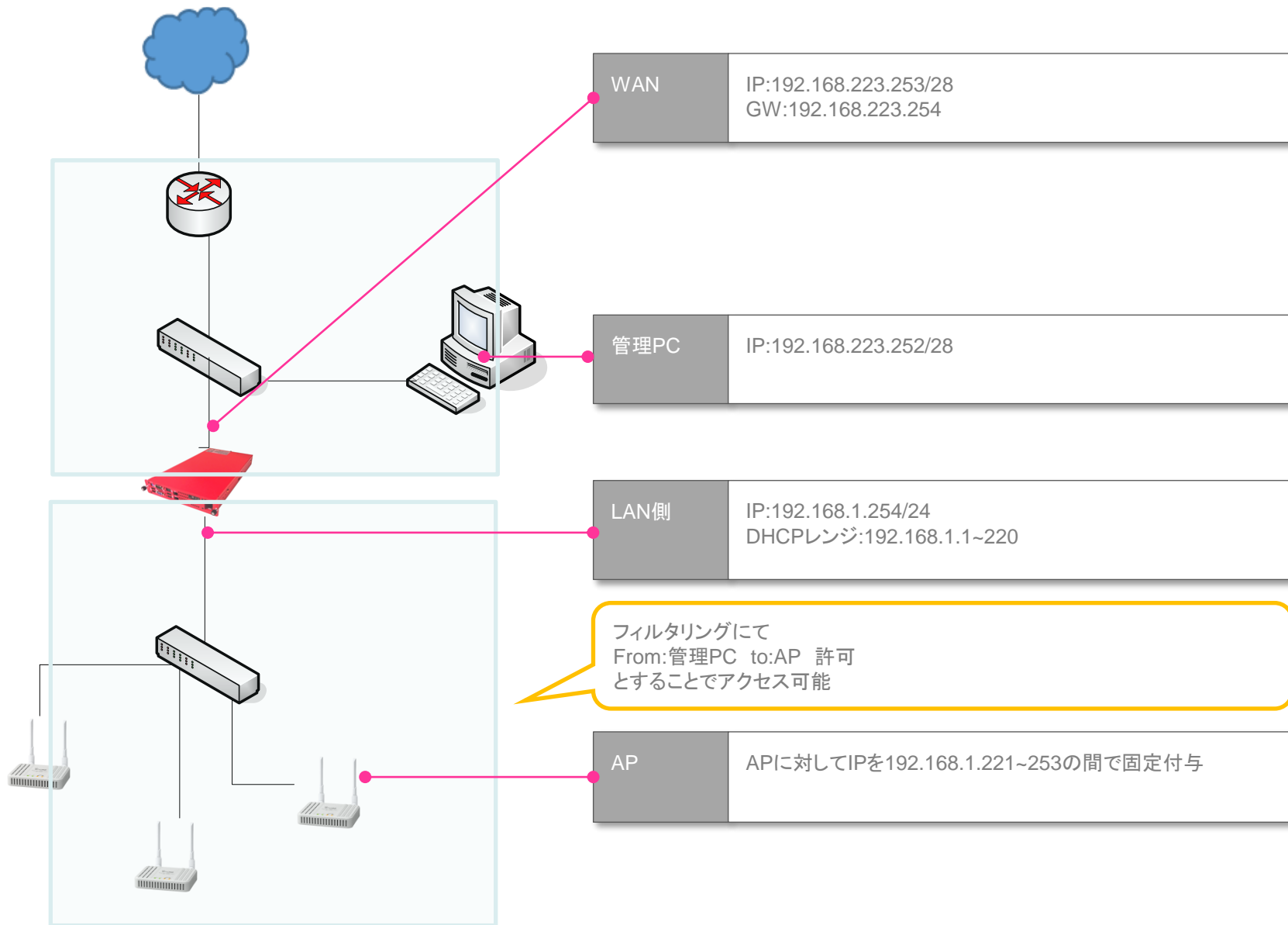
タグVLANで認証方式を使い分ける構成例



SNMPで認証方式を使い分ける構成例



ルーター配下からLAN側にリモートアクセスする構成例



WLCからAPに対して接続する場合の構成例1

@クラウドを利用する場合でも、下記の構成に関する考え方は同じ。

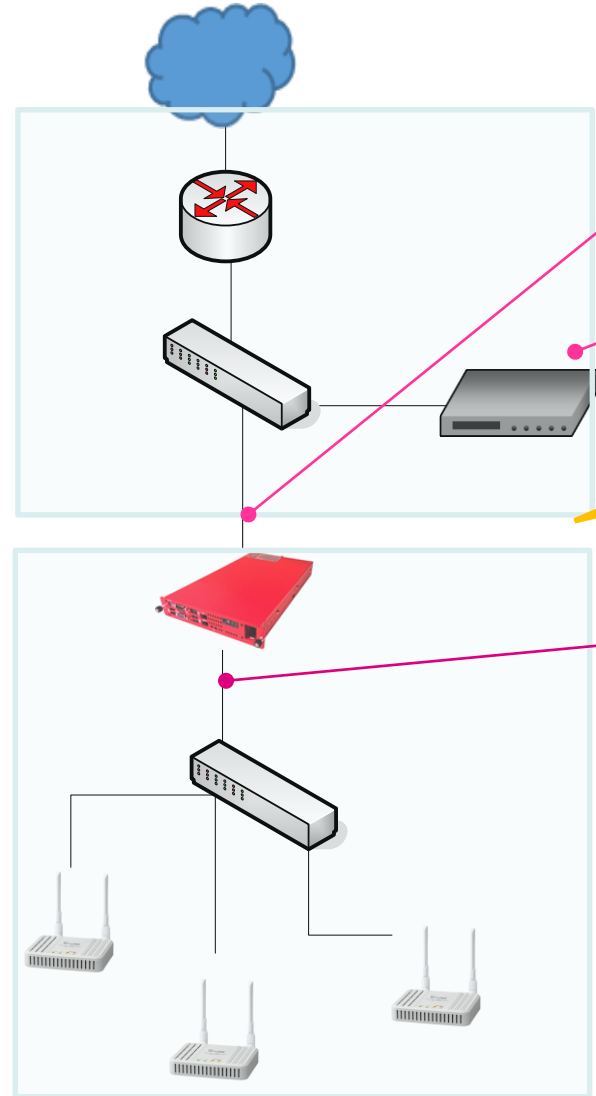
WAN
IP:192.168.223.253/28
GW:192.168.223.254

WLC
IP:192.168.223.252/28

AP<->WLC間の通信について、POPCHATにフィルタリング「許可」の設定追加

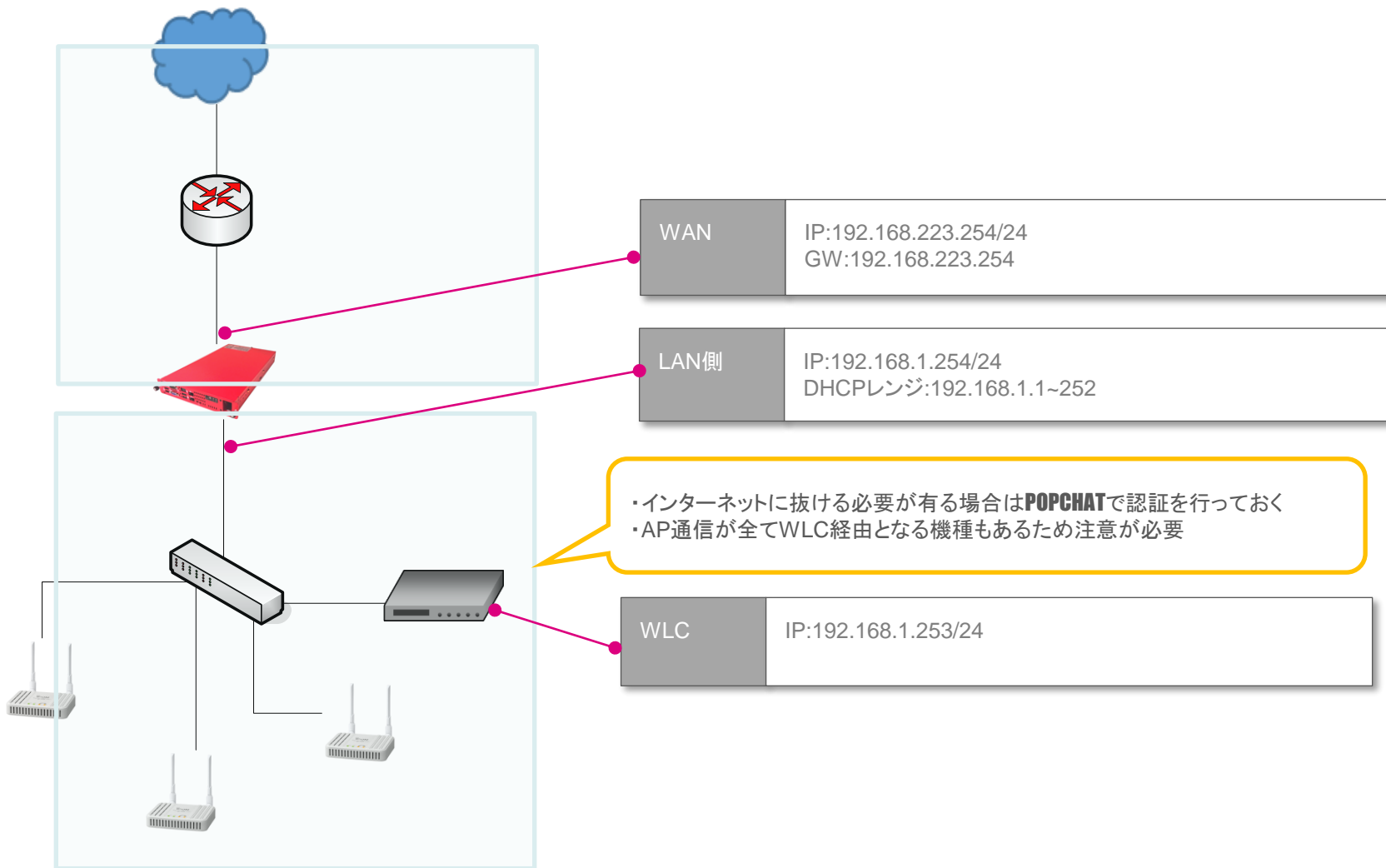
LAN側
IP:192.168.224.254/24
DHCPレンジ:192.168.224.1~220

APへ固定IPを設定

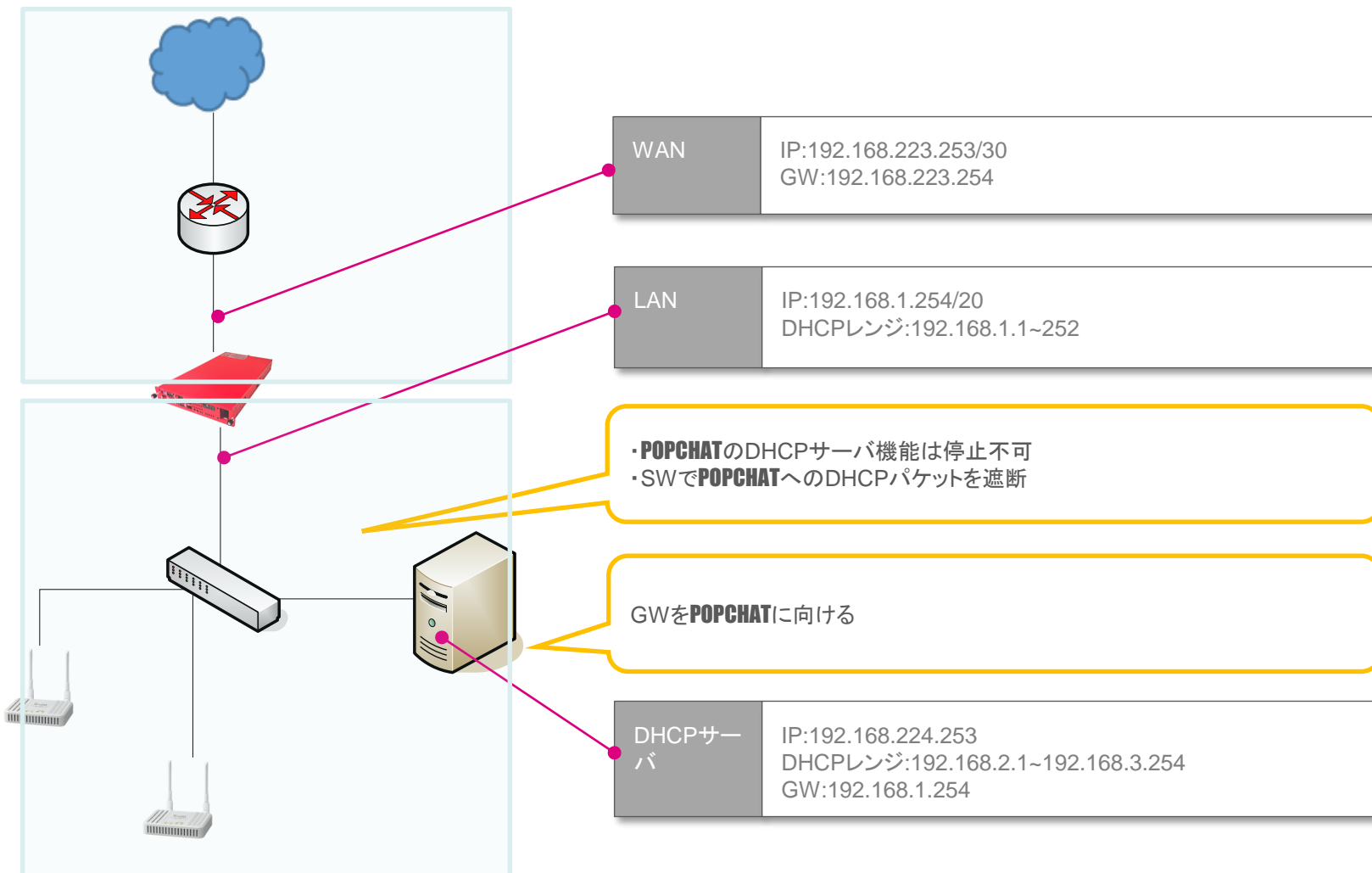


WLCからAPに対して接続する場合の構成例2

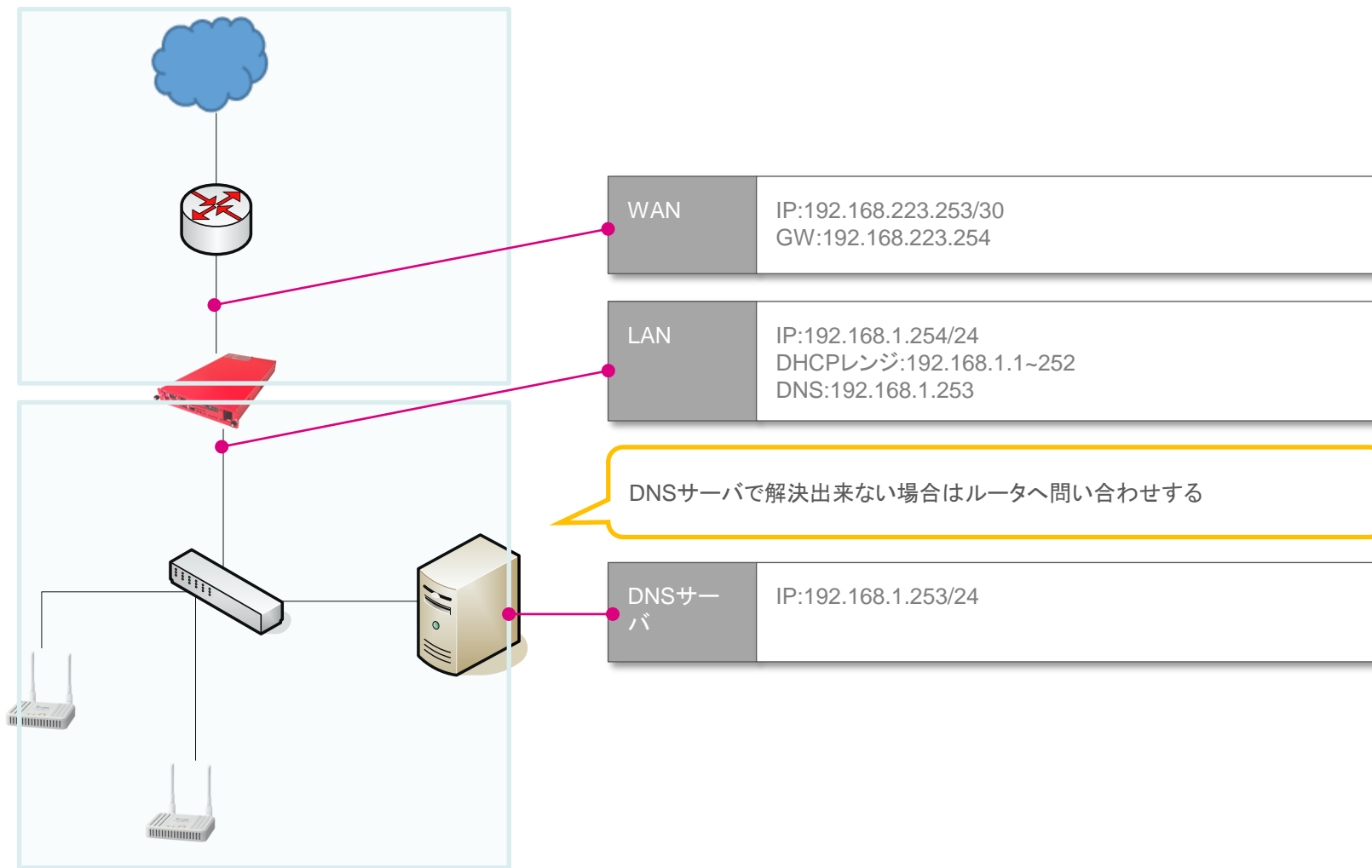
@クラウドを利用する場合でも、下記の構成に関する考え方は同じ。



(POPCHATのDHCP割当IPアドレスを使用しない)



DNSサーバがある場合の構成例



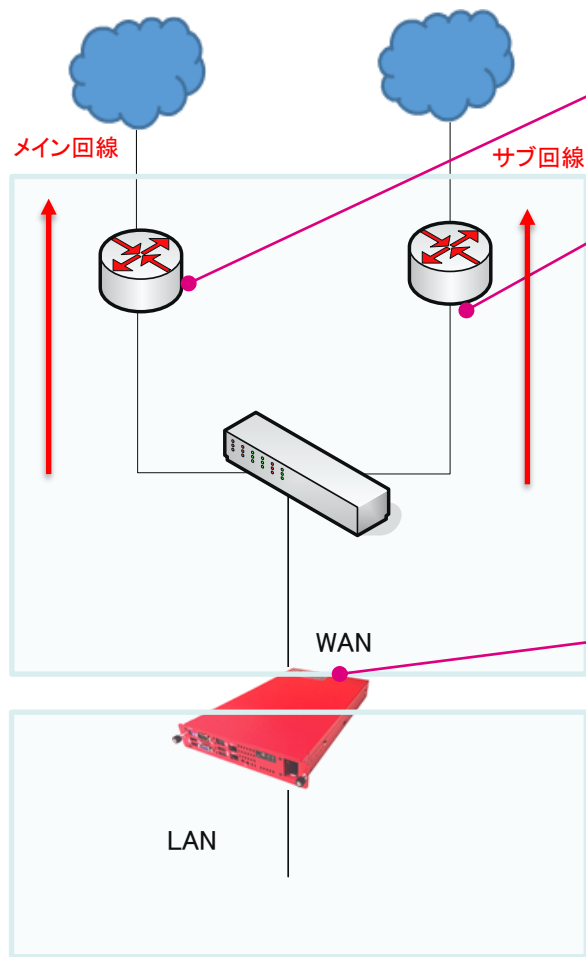
DGを2つ登録することで一方の回線断時にDGの自動切り替えを行う

DG1 192.168.223.254

DG2 192.168.223.253

2つのDGは同一セグメントでなければならない

WAN IP:192.168.223.252/244
DG:192.168.223.254



「DGDC」=Default Gateway Dynamic Changeの略。上位回線障害時に自動切替



POPCHAT株式会社

東京本社 : 東京都豊島区東池袋3丁目20-3

九州事業開発 : 福岡県福岡市中央区天神町1丁目4-1